



分科会 7 ストップ薬物乱用、チャレンジくすり 健康教育—学校薬剤師の新時代—

W-07-02 北海道薬剤師会の取り組み

みやした もとき
宮下 元樹

(社)北海道薬剤師会 常務理事

日本における学校薬剤師制度は、世界に例を見ない制度であります。また薬学6年制が導入され、授業を通しその重要性が学生等にも理解され始めていると共に学校保健法の改正により「くすりの正しい使い方」をはじめとする健康教育に対する我々への期待感も高まってきております。

そもそも学校薬剤師及びその制度の誕生は、北海道の小樽市において、風邪くすりと消毒薬の誤薬があり小学生が亡くなるという痛ましい悲しい事故が発生、この事件を受け小樽教育委員会は、学校にはくすりの専門家である学校薬剤師の存在が必要であると考え、次の年に学校薬剤師を委嘱いたしました。その後全国及び道内では旭川、札幌とその輪が全道に広がっていったのであります。

今後の学校薬剤師の任務は、「健康教育」を含めた学校保健が必須でその必要性を全道の学校薬剤師に伝える必要性と、学校現場での「健康教育」に自ら容易に参加・協力できるような仕組みを考えるため平成7年、北海道薬剤師会学校薬剤師委員会と北海道学校薬剤師会の連携の下、「健康教育ワーキング委員会」を設置いたしました。子供たちの健康は「自ら守っていく」との考え方を理解浸透させるにはどのように訴えていったらよいか、より効果的なサポート方法の具体例を示し収めたマニュアルを平成8年に作成いたしました。その中に実践例1、手洗い励行の効果的習慣づけ2、「アルコールの害」についての教育資料を入れました。

平成9年には、薬物乱用の低年齢化が社会問題になり、その対応に小学校高学年からその恐ろしさ等、薬物乱用の正しい知識を正確に教育すべき教育資材「健康教育普及活動のための実践マニュアル(2)」を作成いたしました。また、それと平行して「くすり」とは何か、その正しい使い方の知識を持ってもらうことの相乗効果を期待しこれに加えしました。平成10年に学校現場における薬物乱用防止啓発活動の参考とすることを目的に、北海道教育委員会の協力を得、北海道内の中学・高等学校の学年毎に、生徒が薬物乱用についてどのくらいの知識を持ち、どの様に考えているのかのアンケート調査を約2万人に対し実施しました。その結果の一つに、薬物乱用は「個人の自由である」と答えた割合が、総務省の全国調査と比較し2倍近くありました。更に、この貴重な資料を生かすべく、それぞれ専門的立場の方々に、多角的に分析していただくため座談会を開催し直接意見交換を行いました。座談会をまとめると、1、教育年齢を遅めにしている。2、依存性は知っているが依存症になって困っている人のことはあまり知らない。3、早い時期から、たばこ・アルコールなどの啓発を繰り返し教育することが重要である。

薬物乱用をはじめ最近の少年非行の陰に少なからず喫煙が絡んでおります。また、喫煙を開始した年齢が低いほど健康への危険度が高くなるなど、喫煙習慣が身につかない早い時期から有害性を教育することは非常に重要であり、共通する依存性を学習させることは薬物乱用を入り口で阻止するための手段としての意義もきわめて大きいと考え、平成14年に「喫煙防止教育のための実践マニュアル」を作成しました。平成16年に、喫煙防止教育は小学校の早い時期からの教育が効果的で児童生徒がより興味を示すための簡単な動画を用いた教材を作成しました。また、平成18年には、この動画を含め、今まで作成したマニュアルと薬物乱用等の教育資材を再編集、再構築し「環境・健康教育、実践教材」と題したDVDを作成し全道の学校薬剤師に配布しました。これらの教材を利用し全道各支部の学校薬剤師には、健康教育に力を注いでいただいております。特に平成22年度より、新学習指導要領が実施されており健康教育の講師に要請が高まっております。我々はその要請にこたえるための教育資材をさらにレベルアップし提供すべく作成中であります。

北海道における学校薬剤師活動の今後の課題は薬剤師が偏在しており、不在地域もある。薬剤師会会員のいない地域は非会員を委嘱しなければ実施できない。複数校担当が多く、日常業務に支障の出る場合もある。などの問題があります。その解決には、地域ネットワークの充実(支部会員の協力)、非会員の解消による情報の提供や活動の充実が考えられます。

学校を通した地域保健活動の場として、衛生化学や医療薬学を学んだ学校薬剤師が、その専門性や知識を生かし薬物乱用防止や薬に関する教育も担当しながら、学校職員と協力して学童らの心身の健康増進に寄与したいと考えております。我々学校薬剤師は、一方で薬剤師として働き、一方で児童や地域住民の保健衛生に、顔の見えるボランティア薬剤師として活動したいと考えておりますので、どうか学校薬剤師活動にご理解をいただければ幸いです。